



学校だより 3月 第354号

令和2年2月28日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/index.html>

「自力で時の流れを遅くする」

学校長 小倉 睦

早春の候、今年はこのほか早く学校の桜の木に芽が大きく膨らみ始めてきました。季節の移ろいを感じます。

「新型コロナウイルス」の感染拡大が全国的にも懸念され、各種行事が中止に追いやられる中、あっという間に3月になり、一年間の締めくくりの月を迎えました。

6年生の小学校生活も残り14日となりました。卒業を迎える6年生も残り少ない日数を数えながら卒業制作などに励んでいます。1年生から5年生は、学習のおさらいや新1年生を迎える準備や卒業生を送るイベントに向けての練習等に取り組んでいます。

先日は、ミニコンサートに多くの保護者の皆様にお出でいただき、誠にありがとうございました。それぞれの学年が、心をついて合唱や合奏に取り組む姿を見ると子どもたち一人一人がこの一年間で、一回りも二回りも成長したなぁと実感することができました。これから「卒業生を送る会」と、「卒業」の二文字が冠につく行事が続きます。6年生も、学習のまとめに加え、卒業式の練習、呼びかけや合唱の練習と毎日がスケジュールいっぱいになります。6年生自身も感慨深く、学校の隅々まできれいに掃除をしたり、丁寧に道具を片

付けたりするなど、小学校への哀惜の想いと中学校への希望の気持ちが交錯しているように見えます。1年生から5年生の児童の気持ちにも、それぞれ上の学年への進級を前に、期待と不安が入り混じっているようにも思えます。

ところで、先日ある冊子に、「記憶が詳細なほど、その瞬間は長く感じられる。しかし、周りの世界が見慣れたものになってくると、脳が取り込む情報量は少なくて済み、時間が速く過ぎ去っていくように感じられる」という脳科学者のDavid Eagleman（デイウィッド イーグルマン）さんの言葉が取り上げられていました。このことは、「子どもの頃の時間はゆっくり流れ、大人になると時間はたちまち経過する」という見るものすべてが新鮮な子どもと大人の違いは明らかであることを納得させてくれる言葉です。

さらにイーグルマンさんは、自分の時間を有効に使うためには、「自力で時の流れを遅くする」必要があると説いていました。

そのためには、「新しいことを学び続ける」「新しい場所を訪ねる」「新しい人に会う」これらのことで、脳の取り込む情報量が多くなり、時間はゆったりとしてくるので、それが創造的な思考を育てることに

もつながるのだと述べていました。

このことは、すべて学校現場にも当てはまることで、特に「新しいことを学び続ける」は、いつも六つ西の先生が意識していることでもあります。教師の多忙化による働き方改革が世に叫ばれている今日、日々子どもたちと向き合う中で、取り上げた教材はこれでよかったのか、子どもに対する声かけや手立てにもっとよいものはなかったのか等々を常に振り返り授業改善を行っています。

中学校へ進学する6年生は、学習が難しくなるのは当然だし、クラスの友達、部活の先輩、教科担任の先生など新しい人と出会い、新しい場所へ行き、新しいことを始めます。

1年生から5年生も同じで新しいクラス、新しい担任、新しい教室での新しい勉強が始まります。これは、新しい多くの情報を取り入れ、一人一人の脳を成長させることにとって不可欠なことなのです。

3月は、児童の進学、進級の準備をする時期です。一人一人の児童が1年の成長を確認すると共に、未来への夢と希望をもち、人間関係を豊かにしながら力強く共に育ててほしいと願っています。

19日(木)には、第41回卒業証書授与式で、78名の卒業生が六つ川西小を巣立っていきます。これからも学校教育目標「かがやき ひびきあう 六つ西の子」のように、ますます多くの人と進んでかかわり「共に育つ」ことができることを願っております。

令和初めての今年度、六つ川西小学校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りました保護者、地域の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対応について

新型コロナウイルスの感染拡大防止対応が全国的にも報道される中、六つ川西小学校においても保護者、地域の方の来校を極力控えていただいたり、感謝集会を中止にしたりなど、子どもたちの安全を第一に対応しております。

今後19日(木)の卒業式、離任式につきましても、近隣校とも情報共有し、対応を検討してまいりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

～特別クラブの1年間～

本年度はバレーボールクラブと吹奏楽クラブを開設しました。バレーボールクラブでは、本格的なバレーボールに少しでも近づけるように、部員みんなで協力して練習してきました。吹奏楽クラブは、吹奏楽コンクールや市の音楽会への出演の他にも、地域のお祭りや敬老会でも演奏を披露してきました。

特別クラブに所属する児童の保護者のみなさまには、日々のご支援に大変感謝しております。来年度の特別クラブ開設については4月にお知らせしますが、指導する職員の体制によっては開設できないクラブもあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

